

公益社団法人 千葉市シルバー人材センター

1 団体概要

設立年月日	昭和63年4月1日	出資・出捐状況	0 千円 (うち市 千円)
設立目的	センターは、定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その能力を生かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、これらの者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		
所在地	千葉市中央区末広3丁目17番15号		
代表者	理事長 出山 利明		
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課		

2 組織状況 (令和8年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	2 (1)	18	20 (1)
うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
うち市派遣	0		
職員	7		
うちプロパー	5		
うち市OB	2		
うち市派遣	0		
計	9		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書きで記載している。

職員 平均年齢	43.3 歳	職員平均 給与(年額)	6,597,303 円	役員平均 報酬等額(年額)	6,877,338 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

3 財務状況 (単位:円)

	R5年度	R6年度	R7年度
総収入(A)	1,044,558,697	1,091,270,301	1,085,734,873
総支出(B)	1,049,045,504	1,100,263,708	1,078,750,213
当期収支(A-B)	▲ 4,486,807	▲ 8,993,407	6,984,660
総資産(C)	178,427,404	186,850,190	171,790,250
負債(D)	119,128,457	136,544,650	114,500,050
正味財産合計(C-D)	59,298,947	50,305,540	57,290,200
市補助金	85,409,000	98,762,000	119,552,000
市委託料	190,713,986	203,387,710	215,661,855

4 実施事業

(単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	依存率
シルバー人材センター事業 (事業所・一般家庭等からの受託ほか)	自/受 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	847,561,614	119,552,000	14.1
シルバー人材センター事業 (市からの受託)	受託 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	215,661,855	215,661,855	100.0
労働者派遣事業	自主 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	12,013,793	0	0.0
介護保険事業	自/受 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	8,582,632	0	0.0

※R7年度決算額

指定管理者として管理する 公の施設	
----------------------	--

情報公開	HPアドレス 公開情報	https://chiba-sjc.com/ ■ 定款・寄付行為 ■ 役員名簿 ■ 財務状況 ■ 経営改善計画
------	----------------	---

5 評価指標(共通指標)

(単位:%)

	評価指標	R5年度	R6年度	R7年度
自立性	補助金依存率	8.2	9.1	11.0
	受託事業収入率	18.3	18.8	19.9
	自主事業比率	81.3	81.2	80.1
効率性	人件費比率	14.3	15.6	16.5
	管理費比率	2.8	3.9	3.9
安全性	自己資本比率	33.2	26.9	33.3
	流動比率	104.6	91.5	95.7
	固定長期適合率	95.6	108.6	104.9

6 活動指標(個別指標)

活動指標	R5年度	R6年度	R7年度	備考
会員数	2,208	2,253	2,232	
うち女性会員数	719	724	724	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
入会者数	508	442	432	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
退会者数	403	397	453	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業延人員(受託事業)	188,767	188,649	174,157	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業延人員(派遣事業)	19,545	19,959	22,926	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
契約金額(受託事業)	909,225,299	937,844,437	908,173,277	これまで「受託・独自・派遣事業等の合計額」目標値を定めていたが、第5次経営改善計画よりKPI数値として「受託・独自事業等の合計額」と「派遣事業の合計額」に分割
契約金額(派遣事業)	116,568,135	123,907,508	151,309,699	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
新規契約件数(受託事業)	1,080	944	844	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
新規契約件数(派遣事業)	14	6	26	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
重篤事故件数	0	0	0	
就業中傷害事故件数	8	15	11	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業途上傷害事故件数	7	3	8	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
賠償事故件数	6	10	14	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた

7 経営改善計画

計画期間	R 5 年度 ~ R 7 年度
経営方針	当センターは、「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の就業の機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに貢献していくため、会員の増強・就業機会の拡大・安全就業の推進・事業推進体制の強化の4項目を主要課題として捉え、重点的に事業を推進することを経営の基本方針とする。
経営課題	当センターの担うべき役割を認識し、第4次基本計画に掲げる4つの方針「会員の増強」「就業機会の拡大」「安全就業の推進」「事業推進体制の強化」を主要課題として捉え、重点的に事業を推進することを経営の基本方針とします。

<取組項目>

取組項目	R5 年度策定の計画			特記事項
	取組前 (R5年度)	目標 (R7年度)	現状 (R7年度)	
経営の効率化				
事業の効率化	実施	実施	実施	
事業評価の実施	実施	実施	実施	
収入の確保	実施	実施	実施	
組織・運営体制				
組織の簡素化	検討	実施	実施	
役員の登用	実施	実施	実施	
経営責任の明確化	実施	実施	実施	
職員の雇用	実施	実施	実施	
透明性の確保	実施	実施	実施	
個人情報の保護等	実施	実施	実施	
財務に関する事項	実施	実施	実施	
市民の利便性の向上	一部実施	実施	実施	
市内産業の振興	実施	実施	実施	
暴力団排除	実施	実施	実施	
環境への配慮	実施	実施	実施	
人事・給与制度				
勤労意欲を高める人事・給与制度	未実施	検討	検討	団体の状況を踏まえ適正な評価方法を検討
給与体系	一部実施	一部実施	一部実施	一部独自の給与体系の整備
退職給付引当金	実施	実施	実施	
人材育成	実施	実施	実施	
団体の資金運用				
資金運用	一部実施	実施	未実施	運用資金不足
経営改善計画の策定				
経営方針	実施	実施	実施	
経営改善計画の進行管理	実施	実施	実施	

8 外郭団体による評価

取組項目に関する評価	(1) 経営の効率化 ・業務のデジタル化を推進するため、パソコンやスマートフォンから就業情報の閲覧と申込みなどができる会員専用Webサイトへの会員登録を推進し、登録割合は43.3% (4.7ポイント増)となった。 ・発注者満足度調査を実施し、251件の回答があり、概ね高評価を得た。 ・就業機会創出員による企業訪問(新規契約58件)により140万円の実績(自主財源)を確保した。 (2) 組織・運営体制 ・ホームページに役員名簿や財務諸表等を掲載した。 ・個人情報の保護については、令和4年度より法律が改正されたことから、より厳密に個人情報を取り扱っている。 ・内部統制を維持し、外部監査を計画的に実施している。 (3) 人事・給与制度 ・積立不足となっている退職金の引当資金について、千葉市との協議により計画的に積み増した。 ・外郭団体等連絡協議会等が主催する研修・講習会に参加した。 (4) 団体の資金運用 ・特定資産の運用については、将来の資金需要等を考慮すると現状では難しい。 (5) 経営改善計画の策定 ・第5次経営改善計画で定めた経営方針に基づき事業を展開した。 ・第5次経営改善計画(延長追加版)を策定した。
総合評価	・第5次経営改善計画の取組項目を計画的に実施し、令和7年度の重要業績評価指標(KPI)の目標を14項目のうち5項目で達成し、一定の成果を得た。
今後の方針	・第5次経営改善計画(延長追加版)(令和8年度～令和9年度)において、新たに設定した重要業績評価指標の目標達成項目を増やすよう、取組項目を進行管理し、計画的に事業経営の充実を図る。

9 所管局による評価

取組項目に関する評価	(1) 経営の効率化 ・業務改善等において、会員専用Webサイトへの会員登録を推進し、登録割合が43.3% (4.7ポイント増)となった点は評価できる。今後も工夫等を凝らし積極的に実施されたい。 ・発注者満足度調査(251件)で、概ね高評価を得られたのは評価できる。今後も発注者から高い評価を得られるよう実施されたい。 ・企業訪問により、新規契約58件、140万円の実績(自主財源)を確保したことは評価できる。今後も高い水準を確保するよう実施されたい。 (2) 組織・運営体制 ・内部統制を維持し、外部監査を計画的に実施している点は評価できる。 今後も透明性を確保した事業運営を継続すること。 (3) 人事・給与制度 ・勤労意欲を高める制度として、職務実績を適正に評価し、昇任や給与処遇に反映するとしているが、未実施となっている。今後、効果等を検討したうえで、所要の措置を講じられたい。 (4) 団体の資金運用 ・他市の取組みなど参考に、引き続き資産運用の方法を検討し、安全かつ確実な方法をもって実施されたい。 (5) 経営改善計画の策定 ・第5次基本計画に基づき、計画の進捗管理を適切に行い、課題等を的確に把握し、今後の経営改善に努められたい。
総合評価	概ね計画どおりを遂行しているよう見受けられるが、未実施となっている取組みについては、あらためて必要性を検討するなど、次期改善計画の策定に向けて状況を精査していただきたい。
今後の方針	定年の延長や継続雇用制度の定着等に伴い、シルバー人材センターの会員数は全国的に減少傾向にある一方で、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少に伴う人手不足の深刻化を背景に、高齢者が地域社会の担い手として活躍することへの期待は一層高まっている。シルバー人材センターには、高齢者の就業機会の確保・拡大に加え、人手不足分野における就業機会の開拓やマッチング機能の強化、地域の実情やニーズを踏まえた多様な就業機会の提供など、地域課題の解決に資する役割が求められている。また、「地域に貢献したい」「健康を維持しながら働き続けたい」といった高齢者の多様な就業ニーズに応える受け皿として、その役割はますます重要となっている。さらに、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律への対応やデジタル化の進展など、シルバー人材センターを取り巻く環境は変化しており、法令遵守や適正な事業運営を確保しながら、効率的かつ柔軟な事業展開が求められている。今後も、多様化・複雑化する地域課題や社会経済情勢の変化に的確に対応し、高齢者が能力や経験を生かして安心して活躍できる環境づくりを推進するため、所管課として必要な支援及び適切な指導・助言を行っていきたい。